



水土里ネット長崎だより

長崎県土地改良事業団体連合会



長崎の農業・農村写真コンテスト作品
「茶摘み前」東彼杵郡東彼杵町



～目次～

就任のご挨拶（長崎県農林部長）	2
国の農業農村整備事業予算の推移	3
長崎県の農業農村整備事業予算の推移	3
第70回 通常総会	4～5
第231回 理事会	6
第232回 理事会	6
ながさき水土里ネット女性の会 会員募集	6
全国水土里ネット表彰式	7
雲仙市土地改良区が設立されました	7
令和8年度長崎県農業農村整備事業推進大会のお知らせ	7
令和7年度長崎県多面的機能支払活動組織の集い	8
技術力向上のため資格取得の取り組み	8
労働法の基礎講座	9
本会の主な人事異動	10
本会永年勤続職員30年表彰受賞者	10
本会の新規採用職員の紹介	10
令和8年度 長崎県土地改良事業団体連合会 機構図	11
長崎県農林部幹部職員名簿	11
本会会員新規加入について	12
会議と行事	12



就任のご挨拶

長崎県農林部長
原田 幸勝

本年4月から、長崎県農林部長を拝命いたしました原田でございます。

長崎県土地改良事業団体連合会会員の皆様方におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。また、皆様には日頃から、本県農業、農村の振興にご尽力いただいておりますこと心からお礼申し上げます。

さて、本県の農業は、離島・半島や中山間地域が多く、地理的に厳しい条件にありますが、農業に携わる皆様の創意工夫と努力の積み重ねによって、農地基盤整備地域を中心とした露地野菜の産地化や施設園芸を中心としたスマート農業の取組、高品質な果実や肉用牛の生産など、各地域の特色を生かした多様な農業が展開されております。その結果、令和6年の本県農業産出額は1,745億円と、10年前と比べ268億円増加しております。これもひとえに日頃の皆様方のご尽力の賜物であり、厚くお礼を申し上げます。

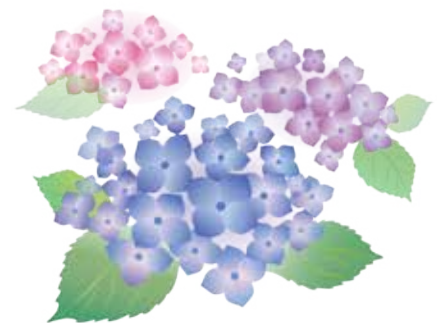
また、今年度は、令和8年度から今後5年間の施策の方向性を示す「第4期ながさき農林業・農山村活性化計画」のスタートの年であり、「意欲あふれる経営力の高い担い手の確保・育成」を推進するとともに、気候変動や社会情勢等の環境変化に対応した「生産性の高い足腰が強く活力ある産地の形成」、地域の魅力を活かした「賑わいのある安全・安心な暮らしやすい集落づくり」を3つの柱として施策を展開することで、「快適で儲かる農林業・快適で暮らしやすい農山村の実現」を目指すこととしております。この取組を着実に進めていくためには、農地の基盤整備や農業水利施設の保全などの生産基盤整備が不可欠であり、農業農村整備事業が担う役割は、今後ますます重要になるものと考えております。

こうした中、国の令和8年度農業農村整備事業関係予算につきましては、当初予算で4,504億円が確保され、令和7年度補正予算2,439億円を合

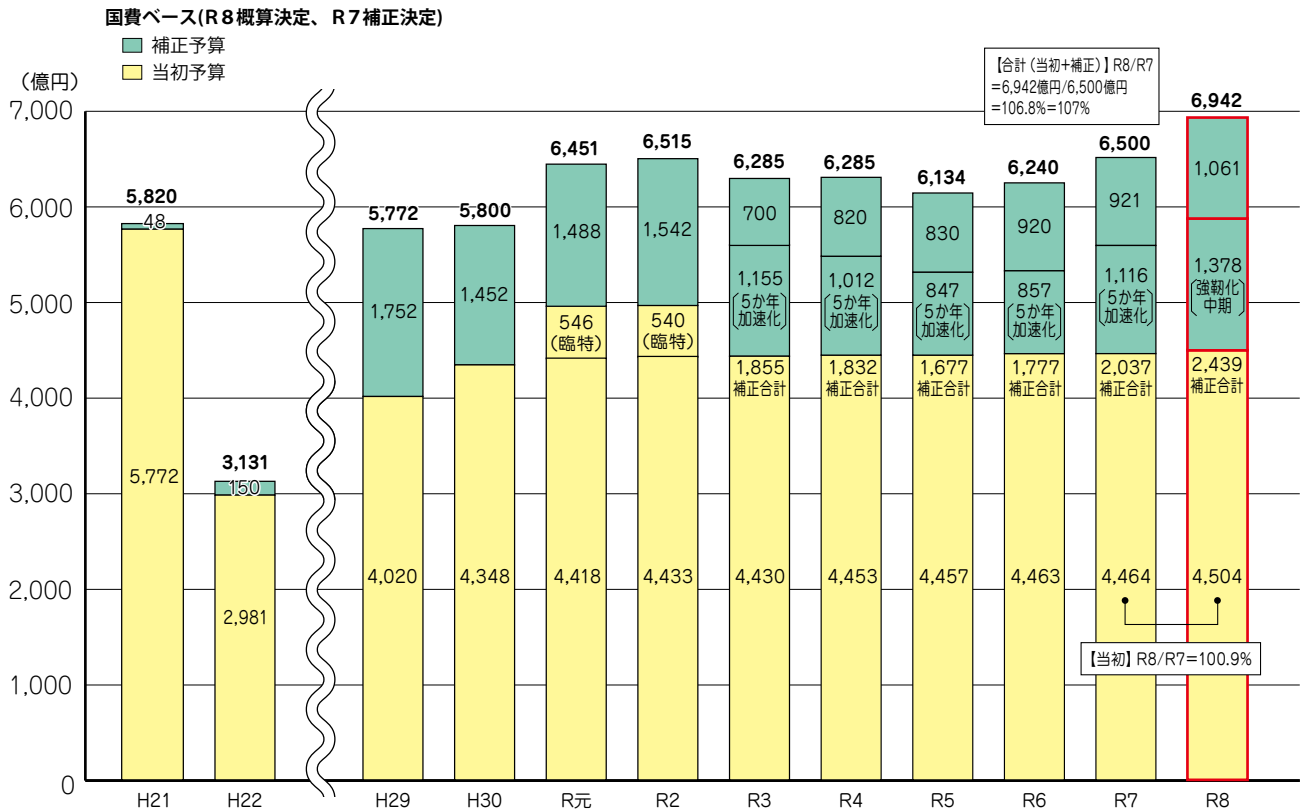
わせると6,942億円となり、令和7年度と比べ6.8%の増加となりました。

また、本県の本年度の農業農村整備関係予算につきましては、本県からの要望額どおり、事業費ベースで121億円を確保することが出来ました。これも皆様方にお力添えをいただきました成果であり、重ねて厚くお礼申し上げます。なお、本年度の県の当初予算は、骨格予算となっておりますので、6月定例議会において、しっかりと予算確保できるよう取り組んでまいりますので、引き続き、お力添えを賜りますようお願いいたします。

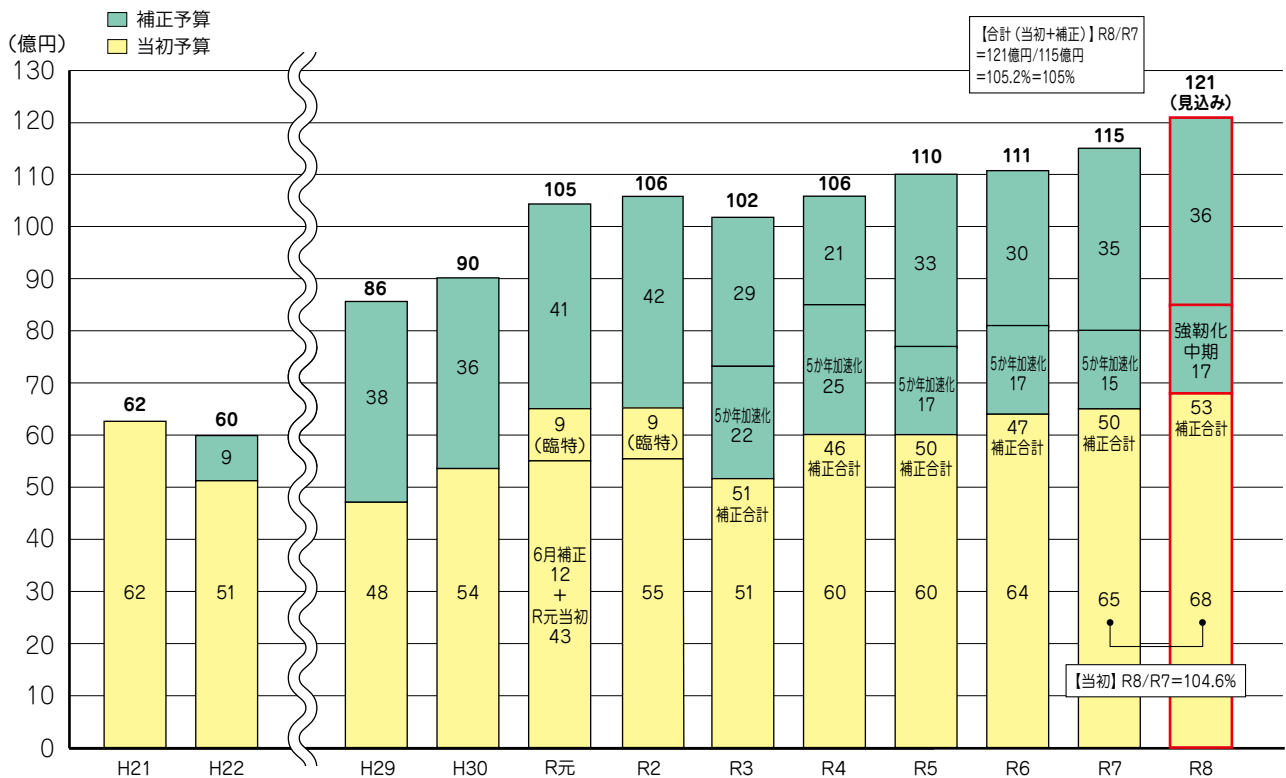
結びになりますが、皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。



国の農業農村整備事業予算の推移



長崎県の農業農村整備事業予算の推移



第70回 通常総会



3月13日(金)、セントヒル長崎(長崎市)において104会員のうち、委任状を含む全会員の出席により本会の第70回通常総会を開催しました。

開会にあたり古川隆三郎会長・島原市長が挨拶を行い、来賓の平田研:長崎県知事、外間雅広:長崎県議会議長、緒方和之:九州農政局長が祝辞を述べられました。

その後、土地改良事業功労者表彰が執り行われました。

議事では、馬場正邦・柳新田土地改良区理事長を議長に選任し、各議案が審議されました。なお、上程した議案は全て可決承認されました。

最後に決議文を柿本香代:水土里ネット長崎理事が読み上げ、満場一致で採決されました。

《本会総会議事》

- 第1号議案 令和6年度事業報告書、貸借対照表、収支決算書及び財産目録の承認を求める件
- 第2号議案 令和7年度事業変更計画書及び収支補正予算書の承認を求める件
- 第3号議案 令和8年度経費の賦課及び徴収方法の承認を求める件
- 第4号議案 令和8年度事業計画書及び収支予算書の承認を求める件
- 第5号議案 役員報酬額決定の承認を求める件
- 第6号議案 借入金額の限度及び借入の方法並びに余裕金の預入先決定の承認を求める件



主催者挨拶
(古川隆三郎:水土里ネット長崎会長)



来賓祝辞
(平田研:長崎県知事)



来賓祝辞
(外間雅広:長崎県議会議長)



来賓祝辞
(緒方和之:九州農政局長)



決議文朗読
(柿本香代:水土里ネット長崎理事)

決 議

農業・農村は、国の大本であり、安全・安心な食料を安定的に供給するとともに、日本の豊かな国土や自然環境を形成し、潤いのある国民生活を支えてきた。これも先人達の農地や農業用水路など、地域資源の維持向上に向けた献身的な努力の賜物であり、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。

しかしながら、農業・農村においては、農業従事者の減少、高齢化及び担い手不足、並びに、耕作放棄地の増加や、近年激甚化する災害等により、農業施設の管理や営農の継続が危惧されている。

また、国際社会においても、地球規模の異常気象、地政学上のリスクの高まり、世界的な物価高騰など、様々な問題に直面している。

これらの国内外の様々な問題に対応していくため、令和六年に「食料・農業・農村基本法」が改正され、これに応じて、土地改良関係者の意見が反映された土地改良法案が令和七年に施行され、新たな土地改良長期計画も閣議決定されたところである。

土地改良に関しては、これまでもその時々状況に対応して制度の見直し等を行いつつ、農地の大区画化・汎用化等の整備とその集積・集約化、スマート農業の展開に向けた基盤整備、農業水利施設等の維持・更新、洪水被害防止対策やため池の耐震化等の農村地域の防災・減災対策などを進め、食料安全保障の強化や国土強靱化に貢献してきた。人口減少が進む農村において、国の基である農業を維持、発展させるためには現在の農業者はもとより、後継者らが進んで参画できるよう農業の構造転換が必要であり、令和七年度から国は農業構造転換集中対策を実施している。この対策を推進していくため、水土里ネットの役割は、より一層重要になってくる。

このような状況の中、本県では、農地の基盤整備を通じて、担い手への農地集積による経営規模の拡大、高収益性作物の導入や施設園芸、露地野菜の作付拡大により産地が強化され、農業所得向上が実現している。また、これに伴い、地域の児童数が増加するなどの波及効果が現れ、地域の活性化にも繋がっている。一方、ため池を含む農業水利施設の老朽化が進行する中、大規模地震や気候変動による豪雨災害が多発しており、国民の生命と財産を守るためにも、農村地域の防災・減災対策等の国土強靱化を継続的に推進していく必要がある。

国の令和八年度の農業農村整備事業関係予算は、当初予算と令和七年度補正予算を合わせ、昨年度を大幅に上回る六千九百億円を確保することができた。我々水土里ネットは、この予算を活用し、農業・農村の発展に向け、更に、農業農村整備事業の推進に積極的に取り組んでいく覚悟である。

このような現下の状況を踏まえ、我々水土里ネットは、これまで培ってきた経験と技術を活用し、「開う土地改良」のスローガンの下、一致団結して、下記事項が確実に実現されるよう国及び県当局に求めることを第七十回通常総会の名において決議する。

記

- 一、担い手への農地集積を加速化し、競争力のある農業を展開するため、農地の区画整理や排水対策、畑地かんがい施設の整備など、農地の基盤整備を着実に推進すること
- 一、農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・耐震化対策を着実に推進すること
- 一、自然的、社会的、経済的な情勢変化を踏まえ、公共性・公益性を有し、食料安全保障に貢献している土地改良区に対し、土地改良施設の維持管理に対する支援を行うこと
- 一、これらの施策を計画的に実現するとともに食料・農業・農村基本法の改正を受けた初動5年間で農業の構造転換を集中的に推進するために、別枠を含めた必要な農業農村整備事業当初及び補正予算をしっかりと確保すること

令和8年3月13日

長崎県土地改良事業団体連合会 第70回通常総会

土地改良事業功労者表彰受賞者

【土地改良区】

山川 幸裕（壱岐地区水田土地改良区協議会事務局長） ※敬称略



第231回 理事会

2月9日（月）、土地改良会館において、古川会長外10名参加の下、第231回理事会を開催しました。理事会では「令和7年度中間監査の報告について」等各議案を審議し、各議案とも満場一致で可決されました。

議 題

- 第1号議案 令和7年度中間監査の報告について
- 第2号議案 第70回通常総会の開催日時並びに場所の決定について
- 第3号議案 土地改良事業功労者表彰に関する件について
- 第4号議案 新土地改良会館建設に関する構造検討について
- 第5号議案 不動産の処分に関する事項について
- 第6号議案 総会に付議すべき事項、第70回通常総会提出資料議案の承認を求める件について



第232回 理事会

4月14日（火）、土地改良会館において、古川会長外12名参加の下、第232回理事会を開催しました。理事会に先立ち、原田幸勝：長崎県農林部長より令和8年度農林行政の基本方針の説明、また、吉田好広：長崎県農村整備課長より令和8年度農業農村整備事業予算についての説明を受けました。その後、全2議案を審議し、各議案とも満場一致で可決されました。

議 題

- 第1号議案 規約、規程の一部改訂について
- 第2号議案 長崎県農業農村整備事業推進大会について



募集

ながさき水土里ネット女性の会 会員募集

本会では、土地改良分野において、女性がこれまで以上に地域の担い手の一員として農村地域活性化に寄与し、農業・農村での活躍の場を広げて、土地改良への参画を推進することを目的とし、「女性の会」を設けております。現在、女性の会には、水土里ネット長崎の職員及び土地改良区役職員等より22名の方がご賛同くださり、ご入会をいただいております。

女性の会では、学びや交流の場を設けるなどの活動を通し、ネットワークの確立、情報交換、連携の強化を図りたいと思っており、女性の皆さまのご参加を募っている次第です。

ご入会にあたっては年齢・役職等は一切問いません。ご興味のある方は、是非下記までご連絡下さい。

【お問合せ先】

長崎県土地改良事業団体連合会 総務課：平野・江浦

電 話：095-823-3101

F A X：095-823-3102

E-mail：n.soumu.3101@ntr.or.jp

全国水土里ネット表彰式

令和8年度全国水土里ネット表彰において、長年に亘り農業農村の発展に寄与し、地域農業の振興に貢献されてきた団体・個人の功績を称え、各表彰が授与されました。本県からの受賞は以下のとおりです。

土地改良事業に関わる皆様のますますのご活躍を期待いたします。誠におめでとございました。

第67回全国土地改良功労者等表彰

全国水土里ネット会長表彰

団体表彰：愛津原土地改良区（雲仙市）

個人表彰：小村 法久（水土里ネット長崎技術部長）



（松尾文昭：愛津原土地改良区理事長）

※愛津原土地改良区は現在、雲仙市土地改良区に統合合併済み。

雲仙市土地改良区が設立されました

雲仙市内の8つの土地改良区が合併し、3月26日（木）に雲仙市土地改良区の設立総代会が行われました。合併したのは、八斗木、宮田、守山、山田原、山田原第2、愛津原、南串、岡南部の各土地改良区です。

総代会は、大久保正美：雲仙市土地改良区理事長が挨拶をされたあと、金澤秀三郎：雲仙市長をはじめとした来賓の方々から祝辞が述べられ、浅野政輝：副理事長が合併までの経過報告を行いました。続いて、議事に入り、規約や事業計画案等が審議され、可決承認されました。

合併及び湯田川・大塚川地区の編入により、地区面積は計635.5ヘクタール、組合員数は1,381人となり、土地改良区の一層の体制強化が図られます。



令和8年度長崎県農業農村整備事業推進大会のお知らせ

今年度も、農村地域の生産基盤の整備を計画的且つ確実に推進するため、農業農村整備事業予算の必要額確保を目的として、長崎県農業農村整備事業推進大会を開催します。皆さまのご参加をよろしく願いいたします。

※前号のご案内から日程が変更されました。

日 時：令和8年7月8日（水）
13時00分～

場 所：諫早文化会館（諫早市）

令和7年度 長崎県多面的機能支払活動組織の集い

2月9日(月)、諫早文化会館(諫早市)において、長崎県農地保全推進協議会は、令和7年度長崎県多面的機能支払活動組織の集いを、活動組織や関係機関等約600名の参加のもと、開催しました。

最初に、緒方和之:九州農政局長(代理:小野寺慎司九州農政局次長)、渋谷隆秀:長崎県農林部長、清川久義:長崎県議会農水経済委員長から挨拶がなされ、続いて、永松摂也:九州農政局多面的機能支払推進室長による「多面的機能支払交付金の第3期対策(R7~11)について」と題した基調講演が行われました。次に、県内の3活動組織による事例発表及び感謝状の授与が行われました。その後、近藤英海:大宝地域資源保全会代表より大会決議の提案があり、満場の拍手で採択されました。最後に近藤代表のがんばろう三唱の発声のち、参加者全員による盛大な拍手により、集いは盛会裏に終わりました。



基調講演 永松摂也：九州農政局多面的機能支払推進室長



感謝状授与



がんばろう三唱

事例発表

- ① 坂本地区活動組織(東彼杵町)
- ② 向月まるき会活動組織(平戸市)
- ③ 大宝地域資源保全会(五島市)

技術力向上のため資格取得の取り組み

本会職員のさらなる技術力の向上を目指して資格取得に積極的に取り組み、以下の職員が資格を取得しましたのでご紹介します。今後も、会員の皆様の信頼を得られるよう、努めてまいります。

技術士補(修習技術者)

会員支援課 補佐 金子 龍毅

一級土木施工管理技士

県央支所 補佐 北尾 誠

二級土木施工管理技士

島原支所 技師 松永 一星

(令和8年2~3月取得)

労働法の基礎講座(長崎労働局)

本記事では、労働者を雇用し働いてもらう際に必要な労働法の基礎的な知識を身につけ、労働環境を整備・改善することを目的に、長崎労働局の講座内容を一部抜粋し、複数回にわたって掲載いたします。

職員が安心して長く働ける環境を整えることは、施設管理や事務処理を適切に進める上でも重要です。

労働法の知識を深めることは、人材確保や労働生産性の向上、組織のイメージアップ、ひいては土地改良区の体制強化にも繋がりますので、より良い環境づくりにお役立てください。

【賃金】割増賃金（割増率）

割増賃金は、「時間あたりの賃金」に割増率を乗じて計算します。

割増賃金の割増率

就業形態にかかわらず、すべての労働者（パートタイムやアルバイトも対象）に適用されます。

①法定労働時間を超えて働く場合（時間外労働）	25%以上（×1.25）
②法定休日に働く場合（休日労働）	35%以上（×1.35）
③午後10時～午前5時の間に働く場合（深夜労働）	25%以上（×1.25）
④時間外労働+深夜労働（上記①+③）	50%以上（×1.5）
⑤1か月60時間を超える時間外労働	50%以上（×1.5）
⑥法定休日労働+深夜労働（上記②+③）	60%以上（×1.6）



法定労働時間とは、1日8時間、1週40時間の労働時間のこと
法定休日とは、1週間で1日の休日、または、4週で4日の休日のこと

Q&A 振替休日と代休の違いって何？

振替休日とは、前日までに労働者に通知し、休日と労働日を入れ替えること。

代休とは、休日出勤した後、事後的に労働者に代わりの休日を与えること。

※振替休日や代休の手続きは、就業規則等であらかじめ決めておきましょう

振替休日

休日出勤の割増賃金の支払いは**不要**

代休

休日出勤の割増賃金の支払いが**必要**



振替休日の場合でも、休日を翌週に振り替えた結果、1週間の法定労働時間（40時間）を超える場合は、超えた分について時間外労働の割増賃金の支払いが必要になります。



詳しくは、最寄りの労働局にお問い合わせください。

本会の主な人事異動（令和8年4月1日付）

異動

氏名	新所属	旧所属
松山 芳英	技術部 部長	技術部 換地課 課長
緒方 康生	技術部 換地課 課長	壱岐支所 支所長
前田 正樹	総務部 事業推進室 係長	技術部 技術課係長（兼）総務部 事業推進室 係長
原 慎太郎	技術部 技術課 主任	総務部 会員支援課 主任
平山 碧都	総務部 会員支援課 技師	壱岐支所 技師
益田 一成	技術部 技術課 技師	五島支所 技師
濱 龍大	県央支所 技師	総務部 会員支援課 技師
藤田 伊織	島原支所 技師	技術部 技術課 技師
三芳 峻雅	島原支所 技師	県央支所 技師

新規採用

氏名	新所属
杉村 和奏	県央支所 技師
田淵 拓	島原支所 技師



退職（令和8年3月31日付）

氏名	旧所属
小村 法久	技術部 部長（※嘱託職員として継続勤務）
末永和佳子	県央支所 技師

本会永年勤続職員30年表彰受賞者

波江野 泰三（五島支所長）

平成7年4月1日入会

本会の新規採用職員を紹介



県央支所
すぎむらわかな
杉村和奏

皆さん、初めまして。今年度より水土里ネット長崎に入会し、県央支所に配属されました杉村和奏と申します。

私は、諫早農業高校農業土木科で測量や設計などを学び、専門知識や技術力を身につけてきました。

高校では、クラスで上位に入ることを目標に日々の学習にも励み、コツコツ努力を続ける大切さを学びました。この経験を活かして、努力することを忘れず少しずつ成長していきたいです。趣味は漫画を読むことで、最近はパン作りにハマっています。

まだまだわからないことばかりですが、少しでも早く仕事を覚え、長崎県の農業・農村を支える技術者になれるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



島原支所
たぶらたく
田淵 拓

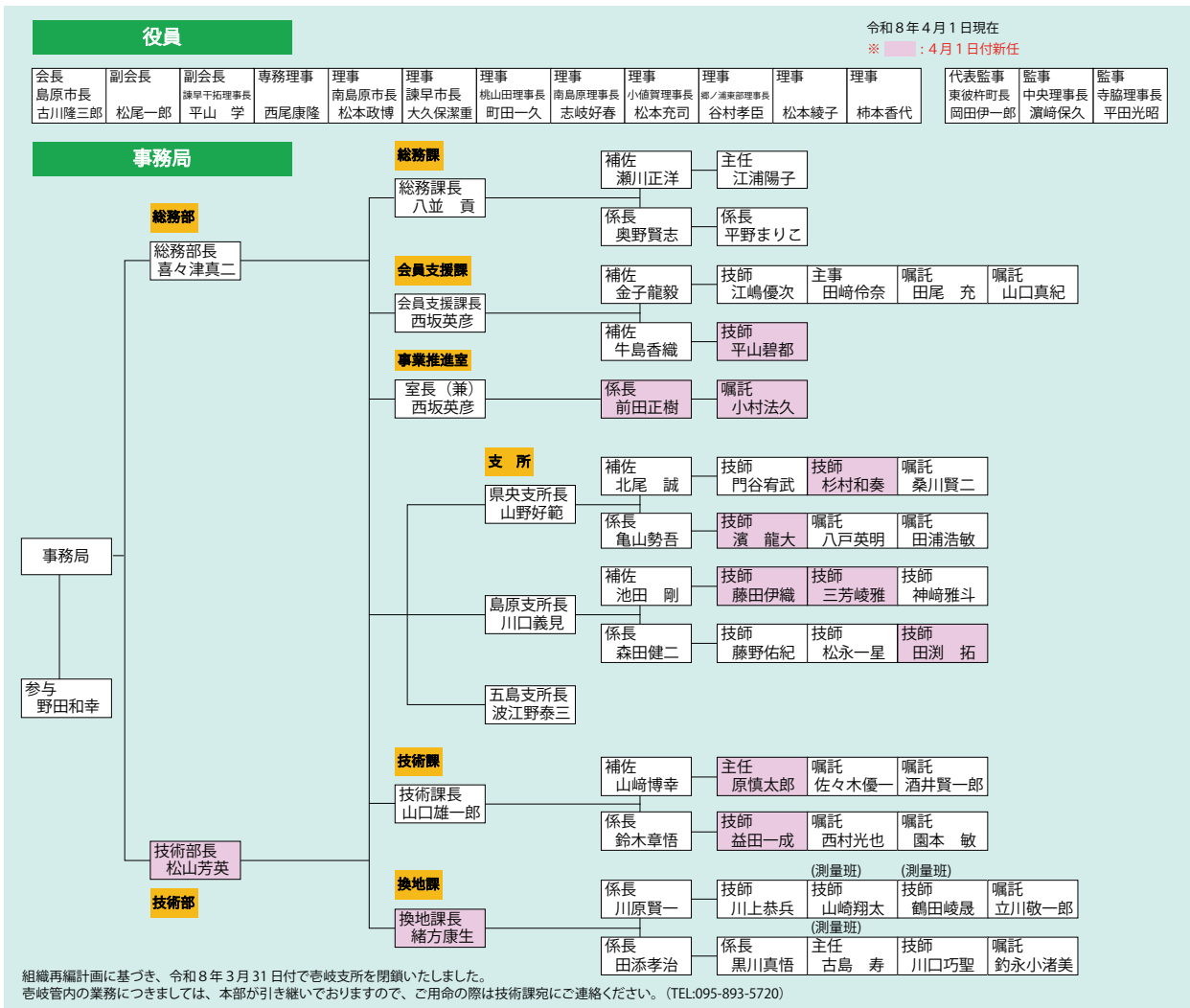
皆さん、初めまして。今年度より水土里ネット長崎に入会し島原支所に配属されました田淵拓と申します。

私は、諫早農業高校農業土木科で測量や設計などを学び様々な実習を通して専門知識や技術力を養ってきました。

高校では、部活動であった陸上競技に全力で打ち込みました。中学時代は県大会で決勝にすら進めませんでした。高校では努力を続けたことで高校二年生の時から九州大会に出場することができました。この経験を生かしてこれからも努力を続けて色々なことに挑戦したいと思います。

まだ、わからないことがほとんどですが、早く仕事を覚えて長崎の農業と農村地域を支えられるように頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度 長崎県土地改良事業団体連合会 機構図



長崎県農林部幹部職員名簿 (令和8年4月1日付)

部署名	職名	氏名
【農林部】	部長	原田 幸勝 (新)
	政策監	空 周一 (新)
	次長	峰松 妙佳 (新)
	次長	村上慎一郎 (新)
農政課	課長	内田 正樹 (新)
農業イノベーション推進室	室長	淵 通則 (新)
団体検査指導室	室長	高橋 哲
農山村振興課	課長	岩間 智子 (新)
農業経営課	課長	清水 一也 (新)
農産園芸課	課長	金崎 浩 (新)
農産加工流通課	課長	坪内 良平
畜産課	課長(参事監)	森 修蔵
農村整備課	課長	吉田 好広
	企画監	山口 忍
諫早湾干拓課	課長	小野田健一 (新)
林政課	課長(参事監)	松尾 尚洋
森林整備室	室長	松尾 哲也

部署名	職名	氏名
【県央振興局】		
農林部	次長兼農林部長	野口 和弘 (新)
【島原振興局】		
農林水産部	部長	清水 孝司
	副部長	野田 儒史
【県北振興局】		
農林部	部長(参事監)	三溝 孝司 (新)
	副部長	豊里 和徳 (新)
【五島振興局】		
農林水産部	部長	田島 典明
農村整備課	課長	木田 雅隆
【杵岐振興局】		
農林水産部	部長	中野 一洋
農林整備課	課長	加藤 光一
【対馬振興局】		
農林水産部	部長	神寄 誠 (新)
	副部長	井手 宏和 (新)
農業振興普及課	課長	陣野 信博

本会会員新規加入について

この度、下記土地改良区が本会会員に加入されましたのでご紹介します。
これにより本会の会員土地改良区は、85団体となりました。

土地改良区名	所在地	理事長	加入年月日
東大土地改良区	島原市新町二丁目117番地2	小林 信照	令和8年4月6日
雲仙市土地改良区	雲仙市吾妻町大木場名63番地	大久保正美	令和8年4月14日

会議と行事

- 5月** 11～12日 九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会
合同要請活動(東京都)
- 20日 全国水土里ネット女性の会通常総会(Web)
- 21日 九州管内各県耕地関係課長等会議(熊本市)
-
- 6月** 1日 都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議(東京都)
- 15日 農業農村整備の集い(東京都)
-
- 7月** 8日 長崎県農業農村整備事業推進大会(諫早市：諫早文化会館)
- 9～10日 長崎県農業農村整備事業推進協議会要請活動(東京都)
- 23日 九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会
合同要請活動(熊本市)
-
- 8月** 6日 知事への要請活動(長崎県庁)
- 20～21日 長崎県農地盤整備地区連絡協議会(西海市)
- 25日 土地改良区運営基盤強化推進研修[会計研修](長崎市)



「**みどろ** 長崎県土地改良事業団体連合会
水土里ネット長崎」



土地改良会館 〒850-0057 長崎市大黒町9番17号 (代)TEL(095)823-3101・FAX(095)823-3102
 総務部：総務課 (直)TEL(095)823-3101・✉ n.soumu.3101@ntr.or.jp
 会員支援課 (直)TEL(095)893-5701・✉ nagasaki.kaishi@ntr.or.jp
 技術部：技術課 (直)TEL(095)893-5720・✉ nagasaki.setukei@ntr.or.jp
 換地課 (直)TEL(095)893-5725・✉ nagasaki.kanti@ntr.or.jp

県央支所：〒854-0071 諫早市永昌東町25-37 TEL(0957)23-7645・FAX(0957)27-0025・✉ sisho02@ntr.or.jp
 島原支所：〒855-0036 島原市城内1丁目1185-1 TEL(0957)62-6424・FAX(0957)65-0618・✉ sisho03@ntr.or.jp
 五島支所：〒853-0032 五島市大荒町441-1 TEL(0959)72-5007・FAX(0959)72-5007・✉ sisho05@ntr.or.jp

ホームページ <https://ntr.or.jp>

長崎県農地保全推進協議会 TEL(095)816-3636 ✉ nagasaki.nkyougikai@ntr.or.jp
 長崎ため池サポートセンター TEL(095)801-1880・FAX(095)820-6836

【本誌に関するお問合せやご質問などは、水土里ネット長崎総務課までお願い致します】